

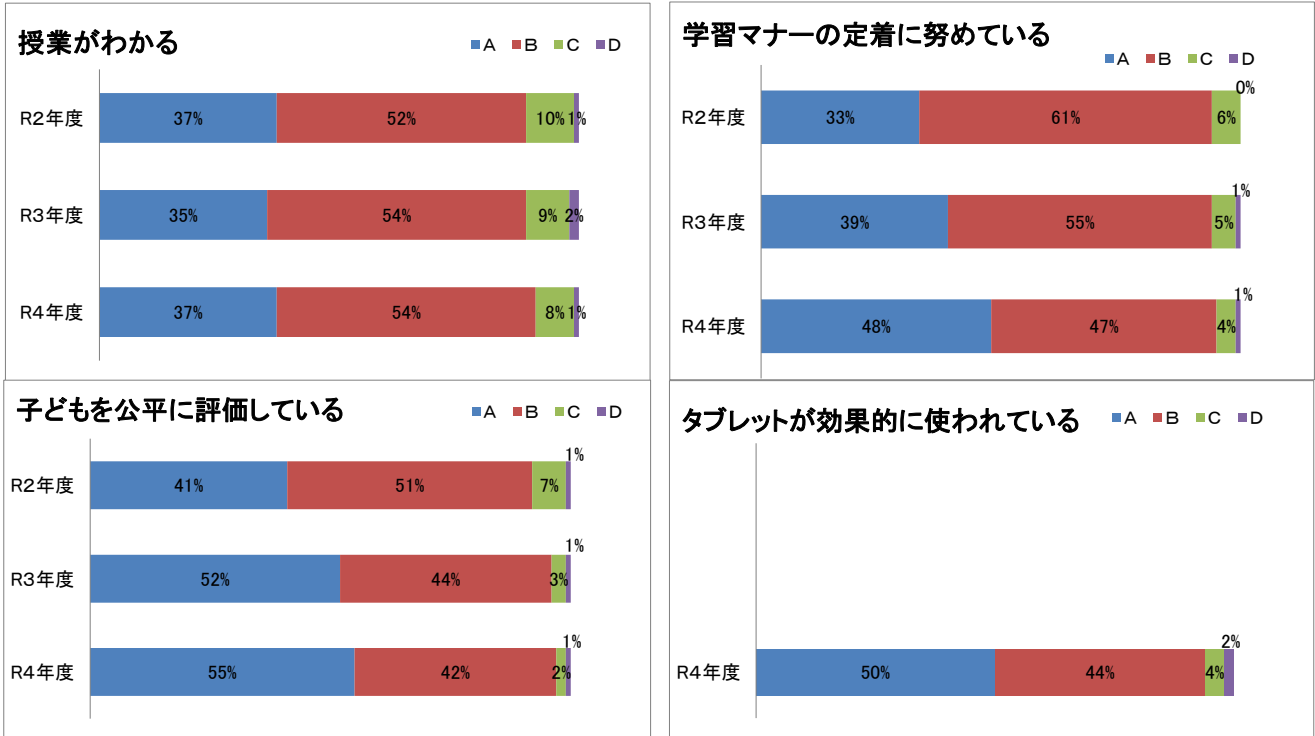
A…そう思う

B…どちらかというと思う

C…どちらかというと思わない

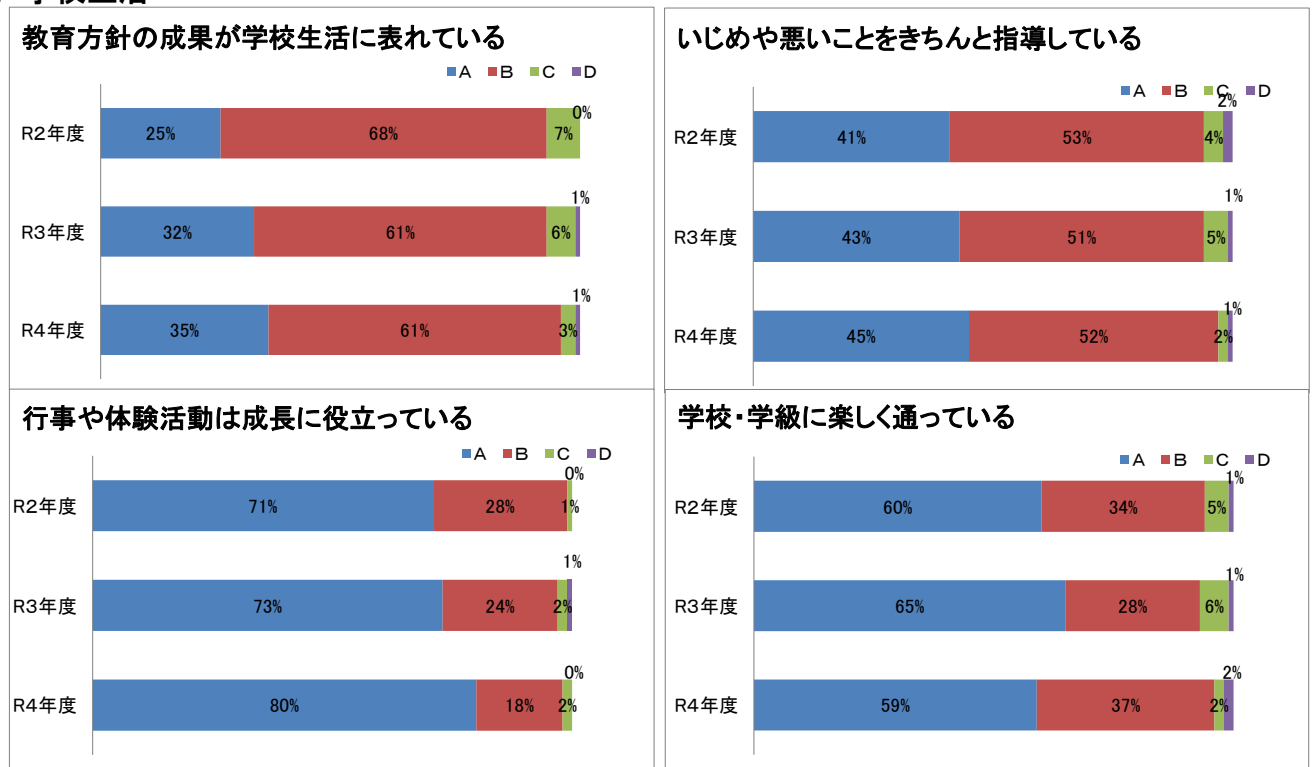
D…そう思わない

1 学習



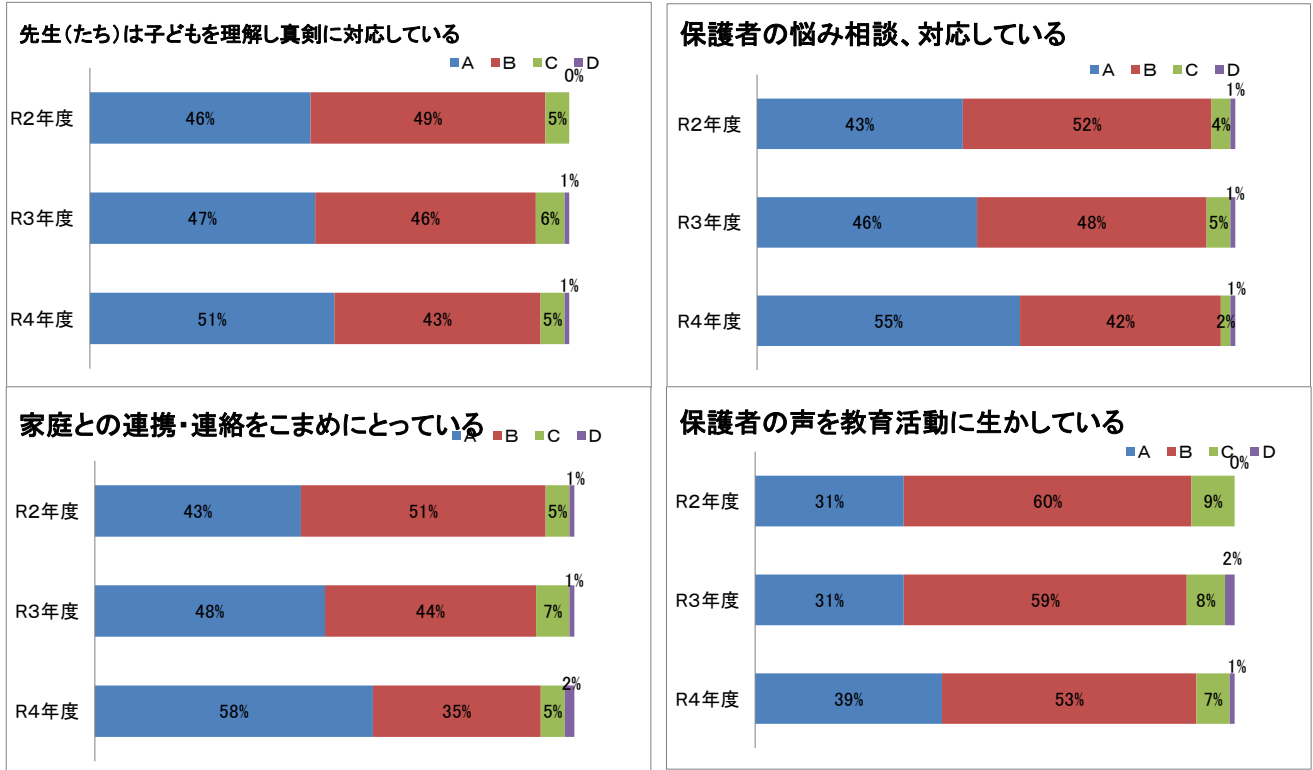
「学習マナーの定着」について、「そう思う」が昨年度と比べて大きく伸びています。子どもたちの話を聞く姿勢や机上の学習用具の整理、発言の仕方や聞き方などを大切に授業を進めることで、子どもたちは落ち着いて学べるように成長してきたと思われます。また、「子どもたちを公平に評価している」「授業が分かる」という項目についても、「そう思う」「どちらかというと思う」が伸びています。今年度、はじめて調査した、「タブレットが効果的に使われている」では、高い評価をいただいています。しかし、「長期休みに持ち帰らせてほしかった。」「もっといろいろな授業で活用してほしい。」「という意見もいただきました。タブレット端末は導入されてようやく2年です。引き続き、その活用方法や活用場面について、検証・検討を重ねていきます。

2 学校生活



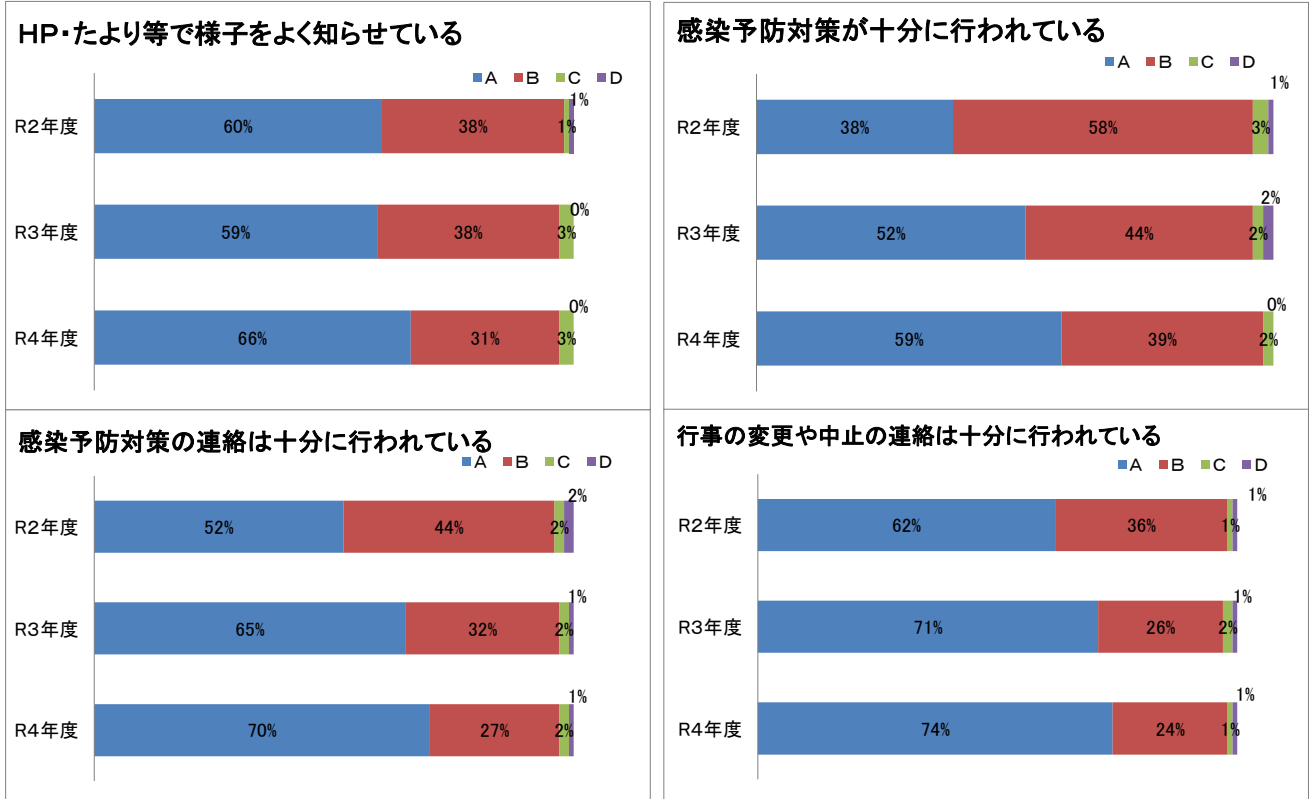
どの項目も、「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせた割合が年々微減していました。しかし、本年度は全ての項目で「思う」の割合が微増に転じました。令和2、3年度を振り返ると、コロナ禍のため、授業参観などで保護者の方々に学校生活の様子をご覧いただくことがほとんどできませんでした。また、行事や活動の多くが中止になり、子どもたちを成長させる学びの場が減っていました。今年度は、3回の授業参観や運動会を公開することができたり、秋の校外学習、芸術鑑賞会や見守り隊感謝の会などの行事を再開させたりすることができました。来年度も、意欲的に学校生活を送ることができる児童の育成に力を注いでいきます。

3 子ども・保護者と教師とのつながり



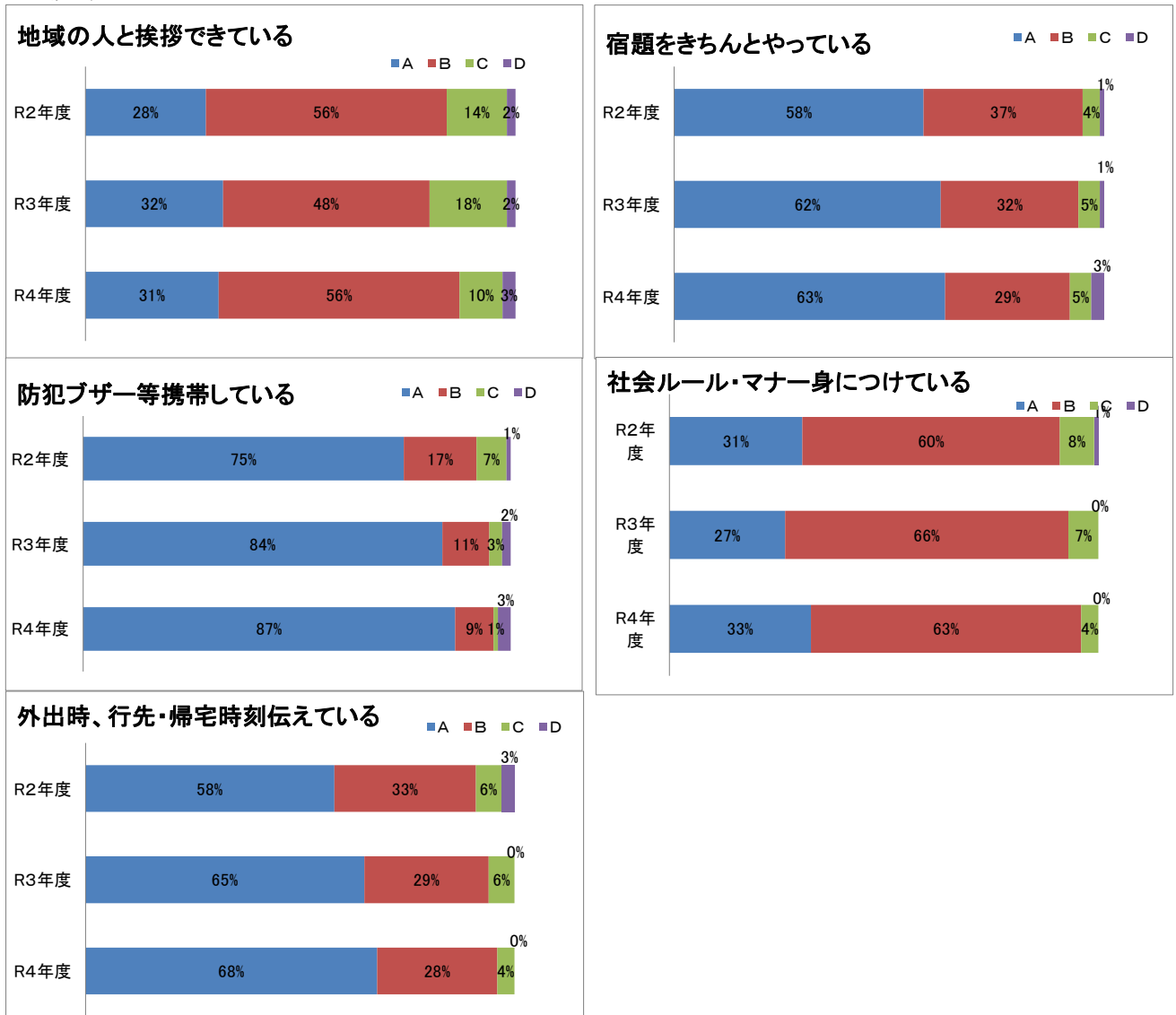
こちらの各項目でも、「そう思う」「どちらかというと思う」を合わせた割合が、減少から増加に転じました。今後も、電話や連絡帳、家庭訪問などで保護者の方と連絡を取り、お子さんや保護者の方の不安や悩みの解消や問題解決に結びつくよう、そして子どもたちの成長に繋がられるようにしていきたいと考えております。ご家庭の方からも、何かお気づきの点などございましたら、遠慮なく学校の方へご相談ください。子どもたちのためにどうあるべきかを考え、学校としてできることを実践していきます。

4 安全で開かれた学校づくり



「感染予防対策」とその連絡について、高い評価をいただきました。今年度も、感染症の影響による行事の変更や中止などについて、紙面に併せてウェブサイトやメール配信での連絡をさせていただきました。3学期より、スマホアプリによるメール配信を試験導入しています。また、「お知らせをPDFダウンロードのあるメール配信にしてほしい」というご意見もいただきました。各種お便りについては、来年度よりメール配信を中心に行っていく予定です。今後も、子どもたちの学校生活の様子を、わかりやすくタイムリーに保護者やご家族の方々にお伝えできるよう、開かれた学校づくりを目指します。

5 家庭教育



「社会のルールやマナーを身につけている」の「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた割合が毎年増加しています。保護者の方々の、ご家庭での働きかけのおかげであるとらせております。「地域の人と挨拶ができている」については、「思う」の割合が減少から増加に転じました。令和2年度は、コロナ禍で声による挨拶を控えていましたが、児童会や3校合同の「あいさつ運動」の実践が功を奏したとらせております。今後も挨拶の大切さを意識させ、人とのコミュニケーションをとるためのマナーとしてもしっかりと身につかせます。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今年度は、感染対策をしながら少しずつ行事や活動を再開させる1年となりました。そんな中、保護者や地域の皆様が西成東小学校の子どもたちを支えて下さったおかげで、笑顔で学校生活を送ることができ、心より感謝しております。来年度は、コロナ感染に対する国の方針も、大きく変わる予定です。これまでと同様、状況を見極めながら、子どもたちのために「今、できること」をみつけ実践していくことで、子どもたちの学びに向かう力を高めるとともに、心豊かでたくましい児童の育成をはかっていけるよう、努力してまいります。今後も、引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。